

2

休校の影響を緩和するための学習環境の整備等について

3月初めから5月末まで2カ月余り休校が続き、家庭環境によって教育の格差が広がったのではないかと懸念されます。市は、補正予算第2号で、家庭学習通信環境整備支援のため、モバイルルーター380台を貸し出し、通信費を補助する予算1950万円を計上しました。このことは評価できますが、380台では足りないのではないかと聞きました。

小平市が行った市内小中学生保護者へのアンケートでは、約4%の家庭にWi-Fiなど通信環境が整っていないことがわかりました。アンケートに基づき、6月2日から受付を始めたモバイルルーター貸し出しの申込は、質問した6月4日時点で200件に達していて、最終的に926件の申込があったそうです。結局、中学生のみに340台を貸し出したとのことで、また再度休校となるような場合には、すべての申込みに対応できる措置が必要です。

教育格差を
広げないで！



3

新型コロナウイルス感染症対策に用途を限定した基金を設立できないか

新型コロナウイルス感染症拡大への対応には、資金が必要です。例えば大阪府は4月27日に「新型コロナウイルス助け合い基金」を設立し、5月22日までに20億9840万円余りを集めました。小平市も、ふるさと納税制度を利用して新型コロナウイルス感染症対策のために寄付を集め始めましたが、PRも不十分であり集まっています。小平市も新型コロナウイルス感染症対策のための基金を作り、積極的に資金を集めたらどうかと提案しました。

市が始めた寄附制度は、特別定額給付金を寄付したいという人に向けて始めたものだそうで、6月4日時点で5件13万6千円が集まったそうです。基金をつくる考えはない、とやる気が感じられない答弁でした。

もっと本気で！



新型コロナウイルス感染症対策のための一般会計補正予算 3つの内容

新型コロナウイルス感染症に対応するため、国や都から市へ多額の交付金が支給されています。これらの交付金を活用し、市の予算も若干加えて、補正予算が生まれ、新型コロナウイルス感染症拡大に対応するための施策が実施されています。それらの補正予算の内容をご紹介します。



補正予算第1号：特別定額給付金はすべての人に行き渡ったか？

(5月1日専決、5月19日臨時議会で承認) 1人10万円の特別定額給付金を給付するための予算です。国から198億2,530万円が市へ支給されました。給付業務の委託費用1億5,450万円も含まれます。

申請の締め切りは8月31日で、市内93,013世帯の99.5%にあたる92,554世帯から申請があったとのこと。市としては、7月27日時点で未申請だった世帯に申請書を再送付したほか、自治会や介護・障がい事業所に申請呼びかけのチラシを送付し、申請を促しました。給付は世帯ごとでしたが、配偶者などからの暴力等を理由に避難している方は、世帯とは異なる住所への送付申請ができ、市内から市外へは18件32名分、市外から市内へは19件32名分の申請があり、給付されました。今回明らかになったこの情報は、今後の施策に活かすよう求めています。



補正予算第2号：ニーズを捉えきれなかった市独自の家賃補助

(補正額17億870万円。5月19日可決)

額が大きいものとして、GIGAスクール構想に向けた小中学生1人1台のタブレット配布予算計7億円が含まれます。中学生までの児童1人あたり1万円を支給する「子育て世帯への臨時特別給付金」2億2,841万円や、困窮者の家賃支援としての住居確保給付金5,300万円も含まれました。小平

市独自の中小企業支援策として、持続化給付金の対象とならない前年度から収入が20～50%減の事業所(持続化給付金の対象は50%以上減)の家賃を補助する予算5億円が計上されましたが、実際には50%以上減の事業所が多かったため、申請件数は8月末時点で想定10分の1程度の163件にとどまっています。



補正予算第3号：ひとり親世帯へ臨時特別給付金

(補正額2億4,442万円。6月26日可決)

国の第二次補正予算に含まれたひとり親世帯への臨時特別給付金(1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円を支給。家計が減少している世帯には、1世帯5万円の追加給付)のための予算1億5,636万円が主なものです。そのほか、幼稚園や保育園での感染症対策のための支援金計8,805万円や、東京都が発行する「感染防止徹底宣言ステッカー」を掲示している市内の事業所に、衛生対策用品購入費用を補助する予算1億5,067万円も計上されました。

3月議会の報告



3月議会では、①小平市緑化基金を活用して小平の緑地保全を進めるべき、②花小金井武道館をできるだけ長く継続使用させてほしい、③集会施設等の利用者負担の見直しについてもっと市民と話し合うべき、の3件の一般質問をしました。

①については、市はこれまで緑化基金で緑地を買収したことはなかったが、今後は特別緑地保全地区の買収などに活用したい、との回答を得ました。

②について、武道館を来年4月に取り壊すのではなく、「利用者に配慮してできるだけ長く継続使用」させてほしいという昨年3月の議会で採択された請願の趣旨を活かすよう要望しました。③については、集会施設等の利用の有料化を前提とせず、有料化の是非について根本から市民と話し合うよう、これからも求めています。

かずえの日記

4/7 風鈴草子ども食堂
初めはテイクアウトに
子ども食堂もテイクアウトに。お鍋やタッパの持参を呼びかけたら、皆さん容器持参で来てくれました。



5/30 国市市コロナ困りごと相談会(主催・第2回コロナ困りごと相談会実行委員会)
困難を抱えている方向けの相談会に参加しました。弁護士さんが相談を受け、食料の無償配布もしました。



6/6 玉川上水・分水水質調査
全国一斉水質調査に参加しました。下水処理水が流れる玉川上水よりも多摩川の自然水が流れる用水路のほうがCODが低く、きれいな水だとわかりました。



6/4 エコまるくん見学
東部公園に設置されていたバイオトイレのエコまるくんを見学しました。流した水を植物性濾材を通して繰り返し使えます。



7/2 小平駅南口 宇都宮けんさん街宣
都知事選挙で常に弱い立場の人の側に立つ宇都宮候補の応援演説をしました。



7/9 津田団地南 草刈り打合せ
夏の草刈りのときに、皆が楽しみにしているソックスの花を刈り取ってしまわないよう、市の担当の方と現地を確認して、お願いしました。



これらの小平市議会6月定例会において水口かずえが行った一般質問とそれに対する回答の全文をホームページに掲載しています。ぜひお読みください。